


獨協大学長殿

学外研修報告書

私は、学外研修員として出張しておりましたが、このたび研修を終えて帰任いたしました。つきましては、次のとおりご報告申し上げます。

報告日	2024年9月25日	所属	外国語学部
職名	教授	氏名	浅岡千利世 
研修種別	1. 海外 <input type="checkbox"/> 2. 国内 <input checked="" type="checkbox"/>	研修種類	1. 長期 <input type="checkbox"/> 2. 短期 <input checked="" type="checkbox"/>
研修期間	2024年4月1日 ~ 2024年9月23日		
学外における主な研修機関および訪問先 主な研修期間：龍谷大学 主な訪問先：Institute of Education, University College London (英国)			
出張目的または研究題目 外国語教師教育者の対話におけるナラティブの協働構築に関する理論的考察			
資格	1. 2024年度獨協大学学外研修員（派遣） 2. 本学承認の学外研修員（自費等） 3. その他（ ）		
大学から支給された費用（要清算書類）・補助金額	25 万円		
研修内容（1. 研修経過の詳細 2. 研究成果発表の予定 3. その他 を記入）			
1. 研修経過の詳細：外国語教師教育者が自らの経験・信条・教育実践を振り返る個人の省察と他者と協働しての議論と対話を通して、質的研究方法による事象理解と問題探索を試み、新しい学びに対応する外国語教師像を明らかにすることを目的として研修を行なった。			
研修内容に関して知見を深めるために、以下の学会・研究会に参加した。			
2024年6月16日 日本教師教育学会 公開研究会 オンライン参加			
テーマ：教師教育学の研究アプローチを問う「私と教師教育学」を語りあうことを通して			

提出先：所属学部長→学長→人事課

裏面につづく

2024年6月22日 日本教師教育学会 課題研究I(実践研究)部会 オンラインセミナー参加

セミナー内容：齋藤眞宏、大坂遊、渡邊巧、草原和博 編著『セルフスタディを实践する』

(学文社、2024年) 編者と共に読み合わせ

2024年6月29日 外国語教育メディア学会関東支部第150回研究大会 対面参加

2024年7月6日 大学英語教育学会関東支部第17回大会 対面参加

2024年8月4日 日本教師教育学会 オンラインセミナー参加

セミナー内容：サマラス著『教師のためのセルフスタディ入門』(学文社、2024) 読み合わせ

2024年8月28日～29日 大学英語教育学会第63回国際大会 対面参加

2024年9月21日～22日 日本教師教育学会第34回研究大会 対面参加

2. 研究成果発表のために以下の通り論文を執筆、投稿した。今回の学外研修で行った研究テーマによるものは主に②と③であるが、①と④も学外研修での研究内容に深く関連している。

① 論文タイトル: Patterns of meaning-making in online collaborative reflection sessions

for teachers: An analysis of interactional frames and positioning

学会誌名: *Teaching and Teacher Education* (共著、投稿済、査読中)

② 論文タイトル: Co-production of professional identities through self-study:

Cases of foreign language teacher educators

学会誌名: *Bulletin VALS/ASLA, Thematic Issue 119, 2025*

(共著、第一著者、採択済、2025年出版予定)

③ 論文タイトル: 模擬授業に対するピアフィードバックの計量的分析:
肯定的・批判的フィードバックの特徴とその意義

学会誌名: 獨協大学外国語教育研究所紀要 (単著、投稿済)

④ 論文タイトル: Teachers' stories created through collaborative group narratives

書名: *Weaving Stories in Language Education: Narratives of Teachers and Learners*

出版社: Palgrave (第3章執筆、共著、採択済、2025年出版予定)

3. その他

英国 Institute of Education (University College London)を訪問し、資料収集及び
Dr. Shirely Lawes に 英国における外国語教師教員養成に関する政策に関して
聞き取り調査を行った。